

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



町指定天然記念物の「中野沼と水生動植物群」。時代とともに形は変わりましたが、貴重な動植物群は今もなお残っています。

中野沼の思い出

今から80年前頃、中野沼は昔のまま、主に、かつも、よし、がま、はずなどが所狭しと生えていました。明野あたりから江尻橋前の方まで自然が残っていて、素朴な沼でした。その頃は、今より気候が寒かったので、沼の水が10cm前後の厚さになり、学校帰りに度々、カバンを道の草むらに放り投げて、下駄で滑りました。最初は何度も転びましたが、繰り返すうちに上手になって、下駄スケートを楽しむようになりました。

初夏になり、よし、がま、3mに伸びた頃、オオヨシキリが来て巣を作り、卵を生みます。その卵を茹でたり、焼いたりして腹の足しにしたこともあります。卵を取るには泳げないと取れないので、まず泳ぎを覚えることが大事です。沼の水が増えたとき、農道に水がのるので夢中になって練習しました。バタバタと泳いでいると、濁り始め、どろどろになり流れがないため、なかなかきれいな水にならないのです。泥んこになりながら、少し蛙泳ぎができるようになった頃には夕暮れです。
卵が取りたい一心で、数日後また沼へ行きました。沼の島と島の間は、狭い所で2、3mくらいあり、広い所で7、8m

で、泳いで渡るには無理かなと思いましたが、思い切って飛び込み、向こう岸にしがみつき、島に上がってオオヨシキリの卵を見つけました。卵を取った喜びと、泳げた喜びとが重なって、言い表すことのできないものでした。
あのときの「やればできる」という感動は今でも忘れることはありません。

活動写真

私が子どもの頃、狸塚の辻の石川のお大尽（元石川酒店）の裏庭で、活動写真があった。なんといっても面白かった。活動写真では、大人の俳優さんたちが、本物の刀を振り回し、切り合いをしている。その動きは、魅力に溢れていた。

木戸銭（入場料）は、五銭ぐらいだと思いが、親たちにその銭をもらい、近所の友達と連れ立って、勇んで出掛けただった。

活動写真は今の映画と違い、紙芝居を写真に写したようなもので、声は出なかった。そばに、弁士のおじさんがいて、剣客の主人公の動きが佳境に入ると、弁士のおじさんも熱が入り、声も一段と勢いが付き、見ている大人も子どもも感動しきりだった。あの時の感激は、子どもの頃の楽しい思い出である。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
(平成20年6月28日発行「邑楽町のくらしの四季(第九集)あすへひとこと」)より



暦の上では春
(おうら中央公園)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶広報おうらを読む人には「ひとりごとからまず読む」という人も少なくないようです。表紙から開くもペラペラとめくって読むのは最後のページから、ということか、あまのじゃくか(いや、あまのじゃくは悪ではありません)。▶今月号の締め切り迫ったある日、歯科治療へ。そこで5年前の成人式典で取材した今25歳の歯科衛生士さんと再会。当時話していた目標通りの立派な社会人になっていました。おかげで治療中にも関わらず会話が盛り上がるもしかし……、知る人に口の中を見られるのは、何とも恥ずかしい(笑)。▶それは、広報おうらを担当しながら時折抱く感覚と似ています。▶ん、なるほど！歯を磨くのは、そういうことにもつながるんだ！磨きましょう、びかびかに。(深澤)

広報おうら

ORA TOWN Public Relations

令和2年3月号 No.642

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692(新記入不要)

☎0276-88-5511(代表)

☎0276-47-5007(企画課直通)

☎0276-89-0136

☒ <https://www.town.ora.gunma.jp>
☒ koho@swan.town.ora.gunma.jp

おうらお知らせメール

配信を希望する人は、右のQRコードから、ご登録をお願いします。

☒ <http://cc9.easypocket.jp/R777777> (携帯電話)



(ネット・PC)



(携帯電話)